

議事（4）中央公園再整備基本設計の考え方について

中央公園再整備基本設計の考え方（基本方針）

中央公園再整備では、老朽化した公園施設の更新 + 5つの取組により、市の新たな顔となる魅力的な公園を目指します。

①安全・安心の確保

■子どもや身体障害者等が安心して利用できる公園を目指します。

【具体的取組】

- ・公園施設のユニバーサルデザイン化（多目的トイレ、身障者専用駐車場、インクルーシブ遊具など）
- ・防犯対策（見通し確保、夜間照明、防犯カメラ設置など）
- ・防災機能強化 など

②新たな賑わいの創出

■民間活力の導入や利用者ニーズに対応した施設整備により、新たな賑わいを創出します。

【具体的取組】

- ・飲食店（カフェ）、キッチンカースペースの設置
- ・魅力的な遊具や休憩休息施設等の設置
- ・アイパル香川との連携
- ・イベント広場（小規模を含む）整備など

老朽化した
公園施設の更新

⑤持続可能な管理運営体制の構築

■再整備に合わせて、民間主導の持続可能な管理運営体制を構築することを検討します。また、市民に身近で、日常の交流の場となる公園を目指します。

【具体的取組】

- ・民間による公園の一体的管理運営
- ・周辺施設や商店街との連携強化、情報発信
- ・利用ルールの弾力化
- ・ボランティア活動の推進
- ・市民イベントの開催など

④地域課題への対応

■中央公園の再整備を通して、人口減少・少子超高齢化、中心市街地の活性化、環境問題などの地域課題にも対応していきます。

【具体的取組】

- ・子育てしやすい環境整備
- ・まちとの一体感・連続性
- ・省エネルギー化（LED等）
- ・分煙施設など

③景観・質の向上

■高松市の顔に相応しい、明るく、開放感のある公園を目指します。また、整備当初（S61）のコンセプト「緑にあふれ、季節感があり、気軽に楽しめる公園」は継承しつつ、公園全体の質を高めることで、市街地景観の向上に努めます。

【具体的取組】

- ・デザイン性のあるトイレ
- ・ライトアップ等による夜間景観の演出
- ・モニュメントの移設・撤去及び積極的活用
- ・既存樹木の整理・保全・活用
- ・花壇、ウッドデッキなど

II 中央公園再整備基本設計の考え方（個別施設）

施設名		中央公園再整備基本設計の考え方（案）
1	施設全体の配置計画	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設の活用 ・まち（道路）と一体感・連続性のある動線を確保し、周辺との視覚的つながりを創出。 ・園内は、区切り・段差を減らし、開放感のある公園 ・公園全体のユニバーサルデザイン化（段差の解消、スロープ・手すりなどの設置） ・公園をより一層柔軟に使いこなす ・防災機能を併せ持つ都市型の公園としての整備 ・公園と道路のデザイン統一
2	トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン性にも配慮したシンボリックなトイレ ・ユニバーサルデザイン化 ・公園の各箇所からもアクセスしやすく、分かりやすい場所に設置する ・明るく開放的にして、伐採木材を活用する
3	遊具	<ul style="list-style-type: none"> ・来園の目的となる魅力的な遊具（ふわふわドームなど） ・インクルーシブ遊具やアート性を考慮し、滞在したくなるような空間づくりを行う ・防犯面も考慮し、ゾーニングを行う

施設名

中央公園再整備基本設計の考え方（案）

4

樹木

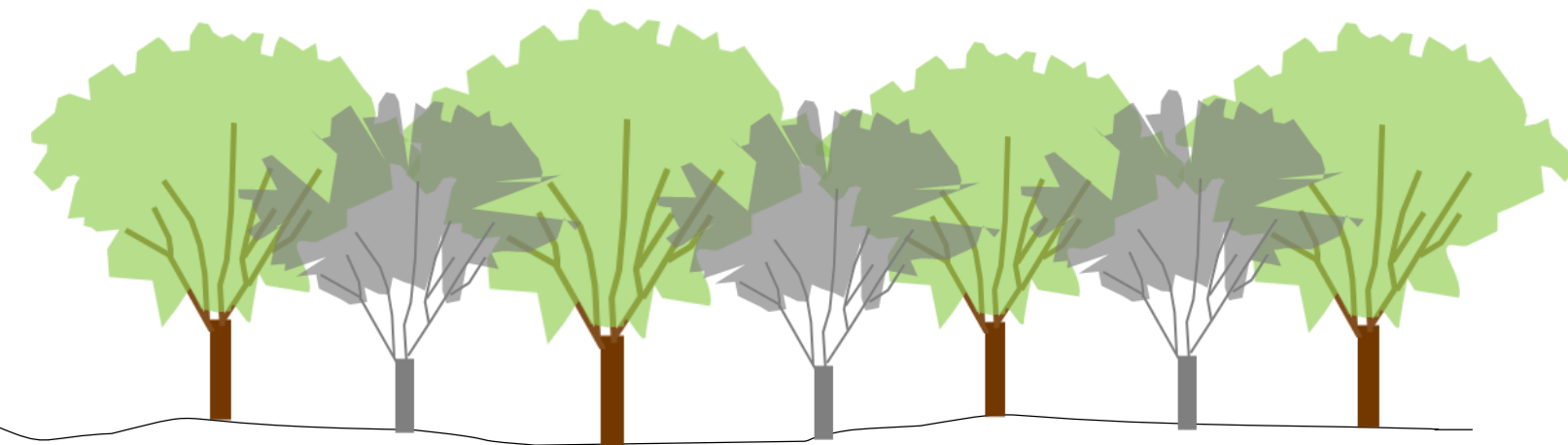
- ・ 市民の貴重な財産である樹木の保全
- ・ 既存樹木をいかした公園機能及び魅力の向上（木陰空間の活用など）
- ・ 生育環境の悪化や防犯上問題のある樹木等の整理
- ・ 撤去した高木等の再利用

【問題のある樹木を整理する上での視点】

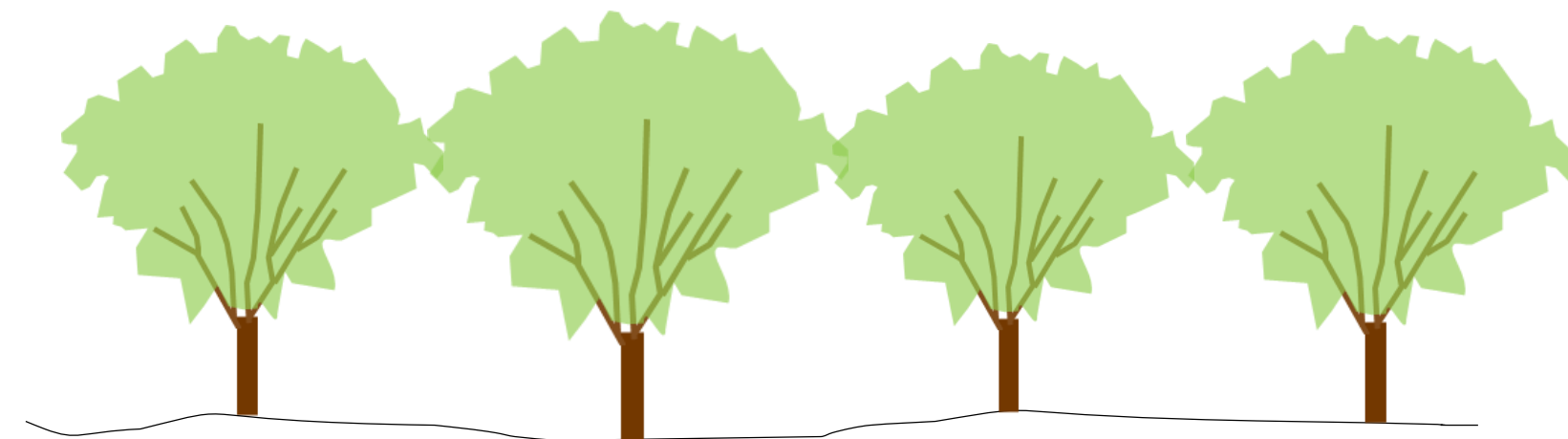
整理箇所		対象樹木	理由	対応
①	樹木過密箇所	高木	育成環境改善	専門家（樹木医）や関係機関（警察・学校・道路管理者等）の御意見を踏まえ、樹木の間引や移植、撤去等を検討します。
②	倒木等の恐れのある樹木	高木	公園利用者等の安全確保	
③	公園内外から死角となっている箇所	中・低木	視認性・安全性の確保	
④	風通しの悪い箇所	中・低木	害虫（蚊等）対策	
⑤	道路上空の枝葉	高木	鳥の糞被害 通行支障	
⑥	新たな施設整備に支障となる樹木	高・中・低木	再整備の支障	

【参考】 樹木間引きのイメージ

■現在：枝葉が重なりあっている状態。



■整備後：間引きを行い、樹木の健全な育成を促す。



中央公園西側



【樹木整理後のイメージ】



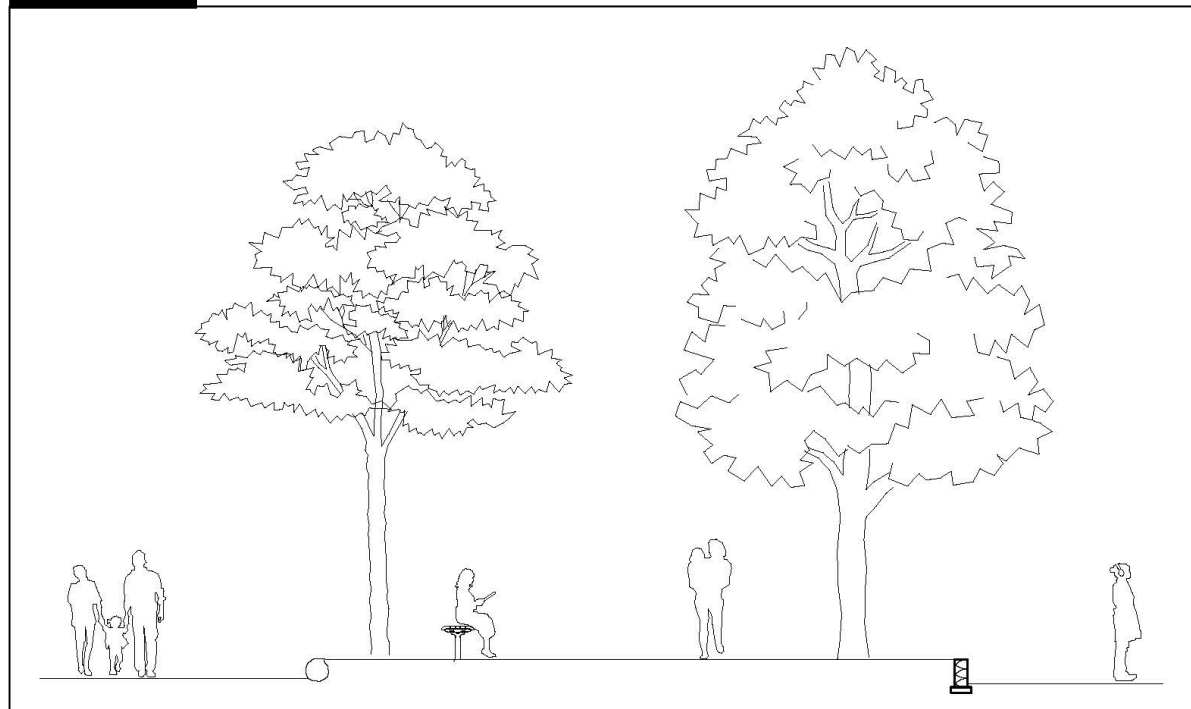
神戸市東遊園地

【参考】中低木撤去のイメージ

整備前



整備後



菊池寛通り



神戸市東遊園地

高木は残し、中低木を撤去することで、緑陰機能を維持しつつ、風通し・見通しの良い空間ができる。

木陰で休憩中

施設名

中央公園再整備基本設計の考え方（案）

5	休憩施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存休憩施設を改修 ・ 地形、高低差をいかした休憩スペースの確保 ・ 日差しや少雨を遮れるベンチの設置
6	広場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模イベント含め、様々なイベントに対応できるスペースの確保 ・ 日常的に利用できるスペースの確保
7	水辺空間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存施設を改修し、子ども等が安全に遊べる水辺空間を確保 ・ 水辺空間の景観の演出（ライトアップ等）
8	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平面レベルに身障者用駐車場を確保 ・ 公園の各箇所にアクセス可能な身障者用駐車場を確保
9	カフェ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園内に開放的でバリアフリーなカフェを設置 ・ 店舗設置者の提案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺の樹木や芝生広場と調和した、公園と一体となったデザイン ・ 誰でも安心して利用できるバリアフリー設計 ・ 店舗内には交流スペースを確保 ・ 店舗を活用した市民イベントの開催等新たな賑わいの創出 ・ 外から見えやすい箇所に ・ お洒落な雰囲気のカフェ ・ 園内で食べられる休憩スペースの確保

施設名

中央公園再整備基本設計の考え方（案）

1 0	修景施設	<ul style="list-style-type: none"> ・公園全体の高質化を図り、イメージアップを図る ・夜間照明による演出、夜間でも来園したくなく雰囲気づくり
1 1	アイパル香川	<ul style="list-style-type: none"> ・ハード・ソフトともに公園との連携強化を図る ・公園利用者が気軽に立ち寄れる空間づくり ・子ども、家族連れ等が訪れたくなる仕掛けづくり
1 2	モニュメント・彫刻	<ul style="list-style-type: none"> ・園内には、市民や各団体から寄附等を受けた約30個のモニュメント（彫刻・芸術作品等）がある。貴重なものが多く、基本的に、撤去や移設は行わないが、動線や広場確保に支障となる場合は、移設等を検討する ・高松市や中央公園の歴史・文化・芸術を市民や来訪者に伝えられるような彫刻やモニュメントの保存 ・少女の裸の銅像については、撤去若しくは移設を検討
1 3	その他施設	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の居場所づくり（アーバンスポーツ等）への配慮
1 4	管理運営方法	<ul style="list-style-type: none"> ・民間が主体となった公園全体の管理運営を目指す。 ・公園利用のルールの弾力化を図ること（キッチンカー、イベント開催、占用・使用料など）を検討 ・周辺施設と連携し、魅力的な市街地形成を図る

III 基本設計イメージ (案)

イメージ図 (案1)

日常の休憩機能、子ども等の遊び場、樹木の保全、既存施設の活用を重視した案



イメージ図 (案2)

大規模イベントや災害時対応、開放感を重視した案



III 基本設計イメージ (案)



アメリカブライアントパーク



香川大学構内



神戸市東遊園地



神戸市東遊園地



南池袋公園(豊島区公園緑地課提供)



国営越後丘陵公園HP